

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134031108	教育相談(カウンセリングを含む。) Educational counseling	花井 博			2	選択	3後期

科目の概要

教育相談は、学校教育において児童生徒ひとりひとりの悩みや相談に応じることで、その子どもの人格的成長支援を目指すものと位置づけられている。子どもの直面する課題は常に変化しており、教育相談を担う人材には社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付け、常に自己研鑽に取り組む姿勢が求められている。(DP2)
この授業では、まず学童期・思春期の人の成長について生物・心理・社会的な観点から学び、子どもの成長のあり方と現れやすい問題についての知識を学ぶ。その上で、教育現場で児童生徒に起こる諸課題について分析し、その問題を解決するにはどうすればいいかを考え判断する姿勢を身につける。また、教育現場での実践に活かしていくことを目指し、援助・支援の方法としてのカウンセリング技法の基礎を、ペアワークや体験学習を通して学習する。これらの学習を通じて、生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場や地域の人々と協働して解決していく力の育成をはかる。(DP6)

学修内容	到達目標
① 教育相談の基礎的事項について学ぶ。 ② カウンセリング理論および技法について学ぶ。 ③ 不登校・いじめ・学級崩壊・発達障害・自殺予防など教育上の諸課題についての知識を深める。 ④ ③について、問題意識とその支援方法について考える。 ⑤ ①～④の総括	① 教育相談の基礎的事項を理解し説明することができる。 ② カウンセリング理論および技法を体験的に理解し実践することができる。 ③ 不登校・いじめ・学級崩壊・発達障害・自殺予防など教育上の諸課題についての知識を深めることができる。 ④ ③に対する問題意識を持ち、支援方法について検討することができる。 ⑤ ①～④の課題解決をすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	教育相談技術の修得のため、自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	助けてほしいときに素直に他者に求めることができる。 助けを求めてきた仲間に支援をすることができる。
	実行力	期限を守り最後までやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	教育相談に関わる教育上の諸課題について、問題意識を持って捉えることができる。
	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。
	創造力	課題を客観的・多角的に捉え、自分自身で対応方法について考察することができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく伝えようと努力をすることができる。
	傾聴力	相手の意見を共感的態度をもって受容的に聞くことができる。
	柔軟性	相手の持つ価値観を尊重し、自分と異なる意見にも耳をかたむけることができる。
	状況把握力	グループでの活動において、自身の果たすべき役割を考え、作業を円滑に進めようとするすることができる。
	規律性	他者の動きを尊重し、集団のルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	自身のメンタルヘルスに留意し、ストレスコーピングなど主体的に対応することができる。

テキスト及び参考文献

<参考文献>
改訂版 これ一冊でわかる教育相談 一学校心理学と障害福祉の基礎— 大山卓 ジアース教育新書 生徒指導要案(改訂版) 文部科学省 デジタル版
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm
<参考資料 オープンエデュケーション>
【独立行政法人教職員支援機構(NITS)】
校内研修シリーズ№141:不登校児童生徒の支援と教育相談(こども教育宝仙大学 石川悦子)
<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/141.html>

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連/
パーソナリティ理解など「心理学」と関連する。
「教育心理学」の学習内容を発展的・実践的に用いる。
教育相談と同じく、子どもの人格形成を助ける教育的支援を学ぶ科目として「生徒指導論」がある。
資格との関連/
中学校教諭一種、高等学校教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
教育現場での「教育相談」は、児童生徒を取り巻く状況の中でその子の最善の利益を目指し支援する実践力が求められます。知るべきことを知り、自身の経験やアイデアを活かし、自分のできそうなことは何かを考える態度を身に付けましょう。	欠席をしないよう気をつけてください。遅刻・早退は3回につき1回の欠席となります。責任ある社会人として提出物の期限を守りましょう。また、実りある学びとするため、わからない箇所はそのままにせず、質問をして下さい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		20	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
		レポート		30	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	30	①	✓			
			②	✓			
			③				
			④				
			⑤				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>教育相談における基礎的事項について説明することができる。</p> <p>教育上の諸問題の現状について、学んだ知見を用いて説明することができる。また、その対応について論じることができる。</p> <p>(S) 9割以上達成できる。</p> <p>(A) 8割以上達成できる。</p>	<p>教育相談における基礎的事項について説明することができる。</p> <p>教育上の諸問題の現状について、学んだ知見を用いて説明することができる。その対応について論じることができる。</p> <p>(B) 7割以上達成できる。</p> <p>(C) 6割以上達成できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 「教育相談」とは何か?	講義/小テスト	教育相談の意義と役割について理解できる。	予習:「教育相談」とは何だろう?今までの自身の経験などを元に、学校で行われる「教育相談」とは何かを考えてみる。 復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
2	児童・生徒の「成長」を支える その1 ～発達段階からの理解～	講義/体験型学習/小テスト	ピアジェの認知発達段階など子どもの発達段階における代表的な理論について理解することができる。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	課題発見力 計画力 創造力
3	児童・生徒の「成長」を支える その2 ～パーソナリティ論からの理解～	講義/体験型学習	類型論と特性論など代表的なパーソナリティ論やその測定法について理解することができる。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	実行力 課題発見力 計画力 創造力
4	児童生徒の「成長」を支える その3 ～精神医学からの理解～	講義/小テスト	精神医学とは何か、また、主に学齢期に明らかになる代表的な精神疾患について理解することができる。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	課題発見力 計画力 創造力 ストレスコントロール力
5	児童生徒の「成長」を支える その4 ～発達障害児に対する支援～	講義/体験型学習	発達障害の特徴について理解し、その支援方法について考えることができる。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
6	学校の中での問題現象 その1 ～学級崩壊・非違行為～	講義/レポート	学級崩壊の類型やその対応方法について理解する。 また、非違行為について学び、社会人として責任ある振る舞いを学ぶ。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 状況把握力
7	学校の中での問題現象 その2 ～いじめ・不登校～	講義/小テスト	いじめや不登校の特徴について理解し、その支援方法について考えることができる。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力
8	学校の中での問題現象 その3 ～自殺予防～	講義/小テスト	自殺行動の特徴について理解し、希死念慮を訴える子どもへの支援方法について考えることができる。	復習:プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習:次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学校の中での問題現象 その4 ～ゲーム・ネット依存～	講義／発表	今日的課題であるゲーム・ネット依存について理解し、その支援方法について考えることができる。	復習：プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	課題発見力 創造力 規律性 ストレスコントロール力
10	カウンセリングの基礎	講義／小テスト	臨床心理学の起こりから精神分析学など代表的な臨床心理学派について概観し、カウンセリングの基礎を理解することができる。	復習：プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	課題発見力 計画力 創造力
11	カウンセリング技法の 体験的理解 ～傾聴、カウンセリング・マインド～	講義／ペアワーク	教育相談にも有効とされるカウンセリング・マインドについて理解し、基礎的なカウンセリング技法について体験的に理解することができる。	復習：プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	連携と協働	講義／小テスト	チーム学校として児童生徒を支える学内での連携と協働について理解することができる。	復習：プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	働きかけ力 課題発見力 状況把握力
13	外部専門機関との連携	講義／小テスト	医療機関や児童福祉機関等、児童生徒を支える学外の主だった外部専門機関について理解することができる。	復習：プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	働きかけ力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	学校危機管理・危機対応・緊急支援	講義／小テスト	事件・事故など、学校コミュニティの危機状態と、それらに対する対応方法について理解することができる。	復習：プリント、テキストを参考に授業内容を振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	働きかけ力 実行力 計画力 ストレスコントロール力
15	自己メンテナンスの重要性	講義／PBL	ストレス反応やストレスコーピングについて理解し、メンタルヘルスを良好に保つ工夫について考えることができる。	復習：プリント、テキストを参考に、全15回の学びを振り返る。 予習：次回授業について、その項目についてテキストを読んでおく。	90	課題発見力 創造力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力